

資料 No.8

＜令和 7 年度地域包括医療・ケア研修会＞

—令和 8 年 1 月 17 日(土)／2 日目-13:50～15:30

## パネルディスカッション Ⅱ

# 診療所が面白い～オンラインの○○○○

### ■発表者

北海道：猿払村国民健康保険診療所長	佐藤 克哉 氏	… p 1
和歌山県：国保北山村診療所長	内川 宗大 氏	… p 44
兵庫県：宝塚市国民健康保険診療所歯科	畠 綾 氏	… p 66

### ■講評

国診協副会長	中村 伸一
福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長	

### ■司会

国診協 診療所委員会委員長	和田 智子
秋田県：にかほ市国民健康保険小出診療所長	

## 診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇

北海道：猿払村国民健康保険診療所長  
佐藤 克哉

人口減少・高齢化・医療資源不足といった課題は、地方の診療所が共通して抱える問題である。本発表では、人口約2,500人の猿払村にある自治体唯一の医療機関である猿払村国民健康保険診療所の実践を通じて、「診療所が面白い」理由と、地域完結型医療の可能性について報告する。

当診療所は、CTや手術室を持たず、限られた人員・設備の中で診療を行っている。一方、広大な医療圏を担う基幹病院も看護師不足や専門科偏在により機能維持が困難となっており、「すべてを基幹病院に依存する医療」は成立しない状況にある。

このような背景から、当診療所では「なるべく猿払村で診る」ことを基本方針とし、地域住民のニーズと基幹病院の負担軽減の両立を目指した医療提供を行ってきた。具体的には、腹膜透析診療や小児診療、皮膚科・整形外科的処置（各種注射）、Smart Eye Cameraを用いた眼科遠隔診療など、地域からのニーズを一つずつ拾い上げ、可能な医療を着実に実装してきた。その結果、「医師が診れる医療」ではなく「住民が診てほしい医療」を提供することで、猿払村ならではのオンリーワンの総合診療科が形作られてきた。

また、医療を持続可能なものとするために、「特定の医師に依存しない体制づくり」を重視し、病床数の適正化、業務効率化、外部委託、教育体制の整備を進めている。診療所化や訪問看護体制の構築、医学生・研修医の受け入れなどを通じ、地域医療の未来を担う人材育成にも取り組んでいる。

総合診療医は、地域に根ざすことで初めて「その地域の専門医」になれる。地域包括医療・ケアの持続可能性を考えるうえで、診療所の果たす役割と可能性を再考したい。

2026年1月17日（土）『令和7年度地域包括医療・ケア研修会』

富士ソフト アキバプラザ

# 診療所が面白い！ オンラインの○○○○○

猿払村国民健康保険診療所

佐藤克哉

2026年1月17日（土）『令和7年度地域包括医療・ケア研修会』

富士ソフト アキバプラザ

# 診療所が面白い！ オンリーワンの“猿払村専門医”

猿払村国民健康保険診療所

佐藤克哉

# 自己紹介

佐藤克哉 (36)  
医師11年目  
村へ来て5年が経過

初期研修：勤医協中央病院  
後期研修：北海道勤医協の総合診療プログラム  
6年目前半：リハビリテーション研修

2020年(6年目)10月～猿払村国保病院へ  
2025年4月～診療所化



# 猿払村国民健康保険診療所



2025年4月～  
診療所化  
(介護医療院4床併設)

# 猿払村国民健康保険診療所



- 一般病床**19**床+介護医療院**4**床
- 自治体内唯一の医療機関
- 救急告示診療所

- 外来**50**人/日
- 入院**10**人程度
- 訪問診療**10**人程度

- 医師**2**名
- 看護師20名程度
- 薬剤師1名、助手2名
- 放射線技師1名
- 検査技師1名、助手1名
- 管理栄養士1名
- 作業療法士1名
- 一般事務2名、医療事務2名

- 心電図
- レントゲン
- エコー
- 透視
- 胃カメラ

- 市立稚内病院：1時間弱
- 名寄市立総合病院：2時間強
- 旭川：3時間



# 猿払村

- ・人口約**2500**人、総面積590km<sup>2</sup>、
- ・主要産業：**漁業**（特にホタテ）、酪農、水産加工
- ・高齢化率**26.3%**（2023）
- ・合計特殊出生率**1.63**（2013-17）
- ・小学校4つ、中学校1つ、高校なし
- ・11の集落



# 本日の内容

①なぜ“診療所が面白い”のか

②地域と診療所の現状

③オンリーワンの総合診療科へ

④持続可能な医療構築の工夫

# 本日の内容

①なぜ“診療所が面白い”のか

②地域と診療所の現状

③オンリーワンの総合診療科へ

④持続可能な医療構築の工夫

# 猿払村国保診療所の面白さ

抱えている問題が

多疾患併存

通院困難

独居

赤字

多職種連携

高齢化

産業衰退

人口減少

専門医不在

医療者不足

多すぎる

# 猿払村国保診療所の面白さ

---

その問題たちって  
どこでも同じじゃない？



# 猿払村国保診療所の面白さ

---

自治体唯一の医療機関の所長



自分の考え方や行動の影響が大きい

責任も大きい

# 猿払村国保診療所の面白さ

---

抱える問題は似たようなものでも、  
解決のための手段には大きく地域性が関わる

地域の問題解決や地域づくりに深く関わること  
が田舎の診療所の面白さでは？

本日は様々な問題の中でも

“医療”に重点をおきましょう

# 本日の内容

①なぜ“診療所が面白い”のか

②地域と診療所の現状

③オンリーワンの総合診療科へ

④持続可能な医療構築の工夫

# 地域と診療所の現状

---

## 診療所の現状

- ・ 地域唯一の医療機関
- ・ CTなし
- ・ ope室なし



当院だけで全ての医療需要に  
応えることは不可能

## 地域住民の現状

- ・ 仕事（一次産業）
- ・ 高齢化
- ・ 独居、核家族化



専門医受診のハードルが高い

# 地域と診療所の現状

## 市立稚内病院の現状

- ・超広い地域の基幹病院
- ・看護師不足で病棟再編
- ・専門科揃わず



ある程度は各自治体の医療機関で  
診れないと破綻する

面積は京都府  
人口55,000人



# 地域と診療所の現状

---

## 診療所の現状

当院だけで全ての医療需要に  
応えることは不可能

## 地域住民の現状

専門医受診のハードルが高い

## 市立稚内病院の現状

ある程度は各自治体の医療機関で  
診れないと破綻する

どうしたら良い？

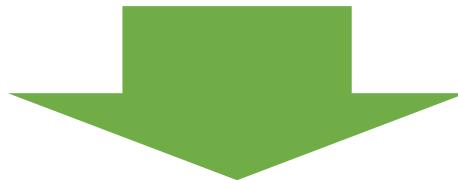
なるべく猿払村で診る  
しかない

# 地域完結型の医療～猿払村ver.～

---

地域住民のニーズ

基幹病院の負担軽減



この2点によって  
自分のなすべき医療が決まる

猿払村の専門医へ！

# 本日の内容

①なぜ“診療所が面白い”のか

②地域と診療所の現状

③オンリーワンの総合診療科へ

④持続可能な医療構築の工夫

# オンリーワンの総合診療科へ

---

地域ニーズの拾い上げ



解決する



新たなニーズが発覚

ひたすら  
延々と  
肅々と  
これを繰り返すだけ

# オンリーワンの総合診療科へ

---

透析患者の通院負担を  
軽減したい



患者数は少ないが、  
緊急性が高い

腹膜透析診療を開始



北海道岩見沢市  
14日 午前10時半

# オンラインの総合診療科へ

---

膝の注射のためだけに  
整形外科へ行くの大変



膝・肩・腰の  
ヒアルロン酸注射  
トリガーポイント注射

最寄りの整形外科まで  
車で1時間

高齢者のみならず、  
若い人たちにもニーズあり

看護師  
「そんな人たくさんいた  
けど、みんな断ってた」

緊急性は少ないが、  
患者数が多い



# オンラインの総合診療科へ

---

二次産業労働者の  
腱鞘炎



腱鞘内ステロイド注射



# オンリーワンの総合診療科へ

---

風邪ひいた子供を  
幼稚園へ連れて行くの大変



小児診療を開始



# オンラインの総合診療科へ

---

村へ移住した人が  
小児診療してるの分からぬ



小児科を標榜



# オンラインの総合診療科へ

---

基幹病院の皮膚科の  
待ち時間が長い



皮膚科診療を開始



# オンラインの総合診療科へ

---

高齢者の皮膚腫瘍  
若年者の粉瘤



皮膚腫瘍摘出を開始



# オンラインの総合診療科へ

---

イボ、タコ、ウオノメ



液体窒素療法を開始  
胼胝・鷄眼処置を開始



# オンリーワンの総合診療科へ

---

基幹病院の眼科の  
待ち時間が長い



Smart Eye Cameraを用いた  
眼科遠隔診療を開始



# オンリーワンの総合診療科へ

---

地域ニーズを拾っていれば  
自然と猿払村ならではの総合診療になる

「自分が診れるものを診る」のではなく、

「住民が診てほしいものを診る」

# 本日の内容

①なぜ“診療所が面白い”のか

②地域と診療所の現状

③オンリーワンの総合診療科へ

④持続可能な医療構築の工夫

# 持続可能な医療構築の工夫

---

猿払村は佐藤先生が来てくれて幸せですね～

佐藤先生はすごい！

佐藤先生じゃないとそんな事できないですよ～

# 持続可能な医療構築の工夫

---

自分がいないと成立しない医療

に価値はない

# 持続可能な医療構築の工夫

---

サイズ適正化

業務効率化

教育

# 持続可能な医療構築の工夫

---

サイズ適正化

業務効率化

教育

2022/12：電子カルテ導入

2024/4：院内厨房を外部委託へ  
Nichii connect（遠隔医療事務）導入  
道北ポラリスネットワーク（ID-Link）公開型施設へ

2025/4：診療所化（24床→19床）、介護医療院4床併設  
訪問看護ST設置、24h訪問看護・訪問診療開始

# 持続可能な医療構築の工夫

---

サイズ適正化

業務効率化

教育

2022/4：稚内高校看護科での授業開始  
旭川医大医学生（5年生）の地域実習受け入れ開始

2024/4：旭川医大初期研修医受け入れ開始

# 持続可能な医療構築の工夫

---

今後は・・・

- ・さらなる業務効率化
  - ・可能な業務の外部委託
  - ・新診療所建設と薬局の院外化
- 
- ・看護助手の導入
  - ・リハ栄養体制の拡充
  - ・専攻医受け入れ



ご清聴ありがとうございました！

みなさまもぜひ地元の“専門医”へ！

## 講師略歴

佐藤 克哉（さとう かつや）

北海道：猿払村国民健康保険診療所所長

### ◆学歴

2015年3月 北海道大学医学部医学科 卒業

### ◆職歴

2015年4月 勤医協中央病院 初期研修医

2017年4月 勤医協札幌病院 内科 医師

2017年10月 勤医協中央病院 救急科/リウマチ膠原病内科 医師

2018年4月 道北勤医協宗谷医院 副所長

2019年4月 道南勤医協函館稜北病院 総合診療科 医師

2019年10月 函館中央病院 小児科 医師

2020年1月 勤医協中央病院 HCU 医師

2020年4月 道南勤医協函館稜北病院 リハビリテーション科 医師

2020年10月 猿払村国民健康保険病院 内科 副院長

2021年4月 猿払村国民健康保険病院 内科 院長

2025年4月 猿払村国民健康保険診療所 総合診療科・小児科 所長

現在に至る

### ◆免許・資格等（主要なもののみ抜粋）

日本医師会認定産業医（2019年取得）

認知症サポート医（2021年取得）

日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・認定指導医（2021年取得）

日本老年医学会 高齢者栄養療法認定医（2021年取得）

医師少数区域経験認定医師（2022年取得）

日本専門医機構 総合診療専門医・指導医（2023・2025年取得）

日本リハビリテーション医学会 認定臨床医（2024年取得）

地域包括医療・ケア認定医（2024年取得）

日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医（2025年取得）

日本腹膜透析医学会 腹膜透析認定医（2025年取得）

## 診療所が面白い オンリーワンの“わっしょ医!!大作戦”

和歌山県：国保北山村診療所長  
内川 宗大

人口381人、高齢化率42%の和歌山県北山村は、国保直営診療所を唯一の医療資源とするべき地である。限られた人員と財源のもと「北山村で人生を育んだ住民が、住み慣れた地域で最期まで穏やかに過ごせるか」という問いは、診療所のみならず保健・介護・福祉を担う地域全体の課題として立ち現れている。

国診協が掲げる地域包括医療・ケアとは、治療に加えて健康づくり、在宅ケア、リハビリテーション、福祉・介護を、住民参加と多職種連携により「暮らし」と結び直し、地域ぐるみで支える仕組みだと理解している。そして、本研修会の副題である「～“ピンチをチャンスに”、“消えない医療”のため国保直診のありたい姿を目指して～」は、北山村が今向き合う状況と重なる。

北山村には、600年の歴史を持った筏流しを「北山川観光筏下り」として蘇らせ、北山村のみに自生する柑橘「じゃばら」を地域を支える特産にまで守り育てた歴史もあり、地域が“ピンチをチャンスに”変えてきた土壤がある。この土壤を背景に、医療もまた「地域が地域医療を守り育てる」方向へ舵を切り、村全体が地域医療をキーワードに連携する旗印として「医療も溶け込んだ北山村の夏祭り：わっしょ医!!北山村」を開催した。

“わっしょ医!!北山村”を起点に、医療と生活を地続きにすることを理念とし、診察室外へも活動の場を広げた。腎代替療法の体験型勉強会、足の健康診断、防災の学び合い、在宅診療への道筋づくり等を、村内に留まらない多職種や時には村民も巻き込みながら実践してきた。さらに診療所を「北山村地域医療研修センター」と位置づけ、医学生や多職種の研修者を受け入れることで、「地域自身が『ここに居てほしい医療人』を育てる」という気概を形にしつつある。地域住民が自らの暮らしと医療を「自分ごと」として捉える一歩だと考えている。

本パネル「診療所が面白い～オンリーワンの“わっしょ医!!大作戦”～」では、限られた人員で地域包括医療・ケアを担ううえでの脆弱性に直面した国保北山村診療所が、北山村全体を巻き込んで、10年後も「望めば最期まで穏やかに過ごせる北山村」を目指す過程を報告する。村民の顔が見える小さな村の小さな診療所の強みを活かした「オンリーワンの地域包括医療・ケア」を掲げ、「消えない医療」を求める地域と診療所のフレキシブルな変化を示し、“ピンチはチャンス”と捉える実装の一例を共有させていただく。

令和8年1月17日(土) @ 富士ソフト アキバプラザ  
全国国民健康保険診療施設協議会  
令和7年度 地域包括医療・ケア研修会  
パネルディスカッション[II]

# 診療所が面白い オンラインの“わっしょ医”！大作戦

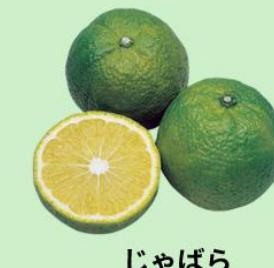
国保北山村診療所  
北山村地域医療研修センター  
内川 宗大





**北山村**  
日本で唯一の飛び地

人口：380人  
(令和6年)  
高齢化率：42.6%  
(令和6年)



筏下り

ピンチを  
チャンスに  
変えてきた村

令和7年 竹下り乗船者  
25万人達成！！

じゃばらいす北山  
「鳴のどろぼん」

楽天通販部門 1位獲得！！

多職種  
連携

限られた人材  
組織としての脆さ  
未来への不安

北山村で人生を育んだ方が望んだ時に

『住み慣れた北山村で  
最期まで穏やかに  
過ごすことができるのか？』

診療所がどう、 、 、 、

役場がどう、 、 、 、

福祉がどう、 、 、 、

**否っ！！村が抱える大きな課題！！**

北山村で人生を育んだ方が望んだ時に

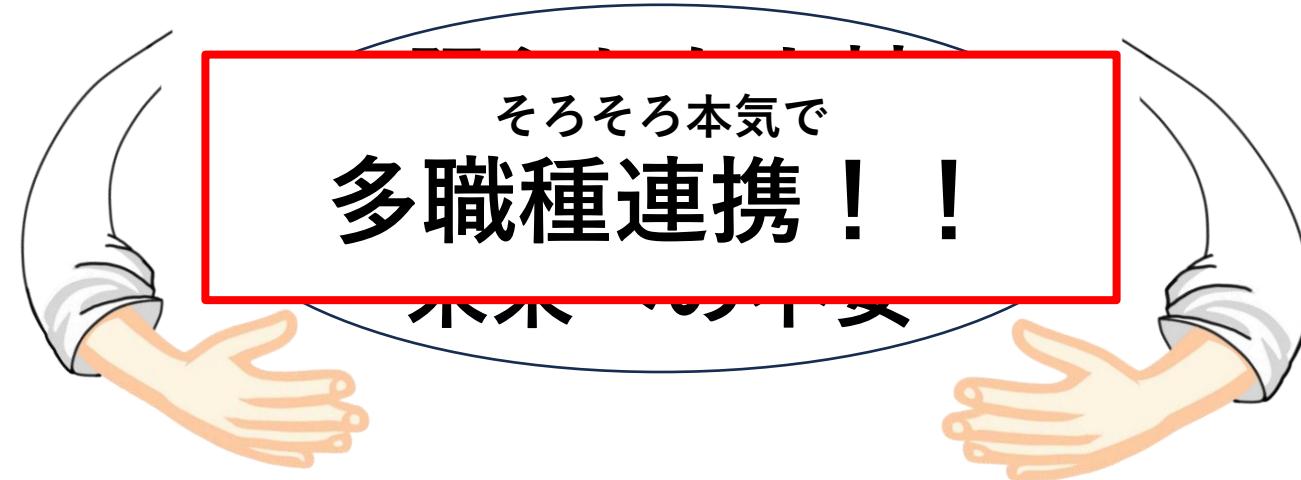
『住み慣れた北山村で

最期まで穏やかに

過ごすことができるのか？』

村全体が村の医療に関心を持つこと

**地域医療をキーワードに村全体で連携する機会を作る**



北山村で人生を育んだ方が望んだ時に

『住み慣れた北山村で  
最期まで穏やかに  
過ごすことができるのか？』

地域を巻き込んだ  
血の通った多職種連携を共通の経験に！！

# 『血の通った多職種連携<sub>(私見)</sub>』

専門性と価値を『照らし合う ⇄ 補い合う』連携

« 自分の価値も理解する »

健やかな暮らしや地域を『共にを目指す』連携

« チームであるという認識 »



“前例踏襲”の流れの中では育まれ難い...  
今控えるピンチ(課題)は前例があるわけではない



『共に悩み、笑った共通の経験づくり』

～“わっしょ医！！大作戦”～

# 『医療が溶け込んだ北山村の夏祭り』

保健介護福祉

役場(行政)

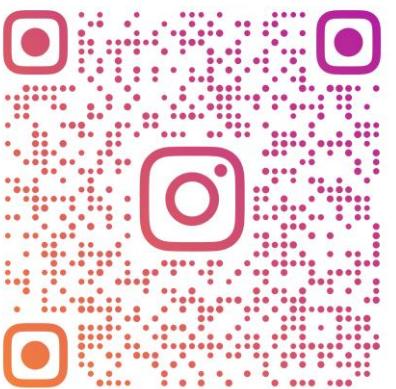
住民・住民家族

企業・働く人





お祭りとしても  
盛り上げて



WASSHOI\_KITAYAMAMURA

そこに  
医療も織り交ぜる

7/6 土 開催!

北山村の夏まつり

地域医療のイベント?  
どんなお祭りなの?

"医療っておもしろい!"

医療ってなんとなく難しそうで、なんとなく近寄りにくい存在…。  
そんなどこか立ち入りにくい世界を  
「たのしいお祭り」に溶け込んだ「地域医療」ならどうだろう?  
森にかこまれた飛び地の小さな村から、  
地域医療を未来へと紡ぐためのちょっと背伸びした試みです。  
そんなかっこつけた思いは込めていますが、「おいしい・たのしい・たいけん」が  
いっぱいの皆さん誰でも「エールカムのお祭り」、それが「わっしょ医!!北山村」です!!

ぜひおぐとろ公園へお越しください!!!

医療体験企画

医療を身近に感じられる体験企画ブースをご紹介します。  
13:00からは、会場ステージにワケリ119を差し!  
小さな子供から大人の方まで、みんなで楽しめるブースになっていますので、ぜひお越しくださいませ!!

日赤和歌山救護班 / 日赤和歌山県支部  
救護班による災害医療体験ブースです。  
救護班制服着用の体験ができます。

足の健康診断  
100歳で歩ける社会を目指して、  
専門家のアドバイスが無料で受けられます。

北山村社会福祉協議会  
車いすやリフト車体験ブースです。  
子供も楽しめるリクエーションも開催します。

ケアピューティー Green  
美容のパワーで健やかさを目指して、ハンドケアや  
ネイルでゆったりタイムをお過ごしください。

歩く防災士  
元救急隊員の防災士が会場を練り歩き、  
防災・救急予防のヒントを教えてくれます。

県内外の人気飲食店がおくとろ公園に集まります!!

全20店が大集合!!

Special thanks 令和の虎 CHANNEL

主催 わっしょ医!!北山村実行委員会  
共催 北山村・株式会社じやばらいす北山  
協力 日本赤十字社和歌山医療センター/  
日本赤十字社和歌山県支部/  
公益社団法人 地域医療振興協会/  
和歌山県立医科大学地域医療支援センター  
協賛 医療法人 高山病院/医療法人博文会 児玉病院/  
J-POWER 電源開発株式会社 北山川電力社/  
医療法人 裕紫会 中谷病院/  
アウトドアクラブ アイスマン/北山村建設業組合/  
株式会社 熊野組/アイザワ工業株式会社/  
株式会社 中井組

古民家居酒屋 169/ごんちゅウキッチン/里山カフェ山花 sanka/  
うつう焼き/中町商店/赤倉食店/じょらいす北山/  
北山村食生活改善推進協議会/ラーメン王子/ベーカリーチックタック/  
アマト/むすび家/餃子屋玲玲/三ニ六屋(みつや)/大石屋/  
はなまるてん/カフェロブキッキン/新興製薬/マジックピエロ/エンゼル





令和7年12月8日(月) 国診協若手の会

病院・診療所が  
地域住民を巻き込む方法

覚悟を決めて  
思いを伝えて  
作戦を練って  
舞台に上がる

国保北山村診療所  
北山村地域医療研修センター  
内川 宗大

# Re:Born 北山村診療所！！

地域のニーズ

診療所の役割

視野を診療所の外へも大きく広げた  
小さな村だからこそ顔が見える

「人・地域とも向き合える  
優しくも強い診療所」

“わっしょ医！！北山村”を経て共通の思い⇒理念へ



- 看取りを含めた在宅診療 (本人/家族↔村外訪看↔村外CM↔後方支援病院)  
⇒ “**受け入れの型**”を持つ、**繋がり**を持つ、**受け入れるには？**を考える
- 腎代替療法の体験型勉強会 (村内↔村外医療介護福祉従事者)  
⇒ “**知っている**”を増やす、**集まる場**、**ケア会議**を活かす
- 村民健康教室



## “診療所の外”での取り組み・連携 ②

関係を広げる

- 医療融合型村祭り「わっしょ医！！北山村」
- メディカルみらいフェス in 紀宝町
- 北山村社協の「げんき祭り」
- 「熊野川×北山村」防災交流
- 看護師訪問によるレスキューイベント



## “診療所の外”での取り組み・連携 ③

次世代に繋げる

- ・北山村地域医療研修センター設立
- ・研修実習受入れ
- ・北山小中学生医療体験



### 受け入れ実績

医学生10名  
研修医13名  
薬学生5名

(令和6年4月～令和7年12月)



北山村診療所の  
みなさんへ

北山小学校5・6年生より  
医療体験  
ありがとうございました

黒潮医療人養成プロジェクトとの連携を通じて目指す未来

黒潮医療人養成プロジェクト

県を越えた  
連携

村を越えた  
体験

飛び地の村で  
まるっと  
成長

# 「わっしょ医!!北山村」から北山村地域医療研修センター設立へ



新たな 関心

新たな 興味

新たな 関係

を活かすべく  
役場事業としてセンター設立



**地域で受け入れる体制づくり**  
(北山村役場住民福祉課事業)

# 学生・研修医受け入れで北山村も成長



- ・黒潮医療人養成プロジェクト(和歌山→紀南病院) 2名
- ・夏季実習：和歌山県立医科大学 2名  
自治医科大学 2名
- ・地域実習：三重大学 1名
- ・その他：継続的に地域研修で紀南病院を訪れる  
研修医を1日受け入れ 10名

人口400人を下回る小さな村だからこそ



# 自立へ予防医療推進

北山

人口300人台の北山村。面積の9割以上が山林で、国内唯一の「飛び地」の村である。高齢化も著しいが、その医療提供体制が注目されている。「村民一人一人の顔が見える予防医療」を掲げる、きめの細かい対応だ。10月には複数の全国の学会で村の取り組みの発表や講演が行われた。和歌山市の和歌山城ホールで開かれた第65回全国国保地域医療学会の壇上に上がった村内の医療関係者の発表に耳を傾けた。  
【加藤敦久】

「飛び地の村で、他市町村からサービス提供が難しい。村の高齢者は自分ることは自分で自立した生活を求めることがあります」

全国の国民健康保険診療施設関係者らが集まった10月3日の医療学会で、北山村唯一の診療施設である国保北山村診療所の看護師、広野みさんが、地元の実情などを報告した。

同学会の今回のメインテーマは「人口減少地域の生活を守る地域包括医療・ケア」。広野さんは「村内には要介護・要支援者が約50人おり、平均65歳のヘルパー6人が支えている」と支援体制が限られていることを明かした。

このため、介護予防が欠かせず、日常的に体力増強を目指す「シニアエクササイズ」の推進活動を報告した。60代前半～80代後半の24人が参加し、毎週金

## 飛び地の村 全国の過疎地が注目



円形に並んで座位でシニアエクササイズをする参加者  
=北山村で7月、同村提供

## きめ細かい運動指導／救急バッグ整備

地域が地域医療を大切に守り育てる

地域全体が連携の場

オンリーワンの地域包括医療・ケア

令和7年10月3日 全国国保地域医療学会  
看護師2名、理学療法士1名、医師  
村長、住民福祉課課長・主査

令和7年10月17日 日本高血圧学会  
保健師1名、村長

令和7年10月30日 日本公衆衛生学会  
保健師1名



～地域に携わり抱いた自問～

『診療所はいつまで最期の時を支えられるのか？』

“課題”を共有する方法を考える

- お祭りの企画書に“開催の思い”として記し伝えた -

“課題”に対する自分なりの方策を持つ

- 地域を巻き込んだ血の通った多職種連携 -

先ずは自分がリーダーとなり動く

- 繋がる方に安心感を与える -

“方策の思い”が共有され仕組みに乗る

- 血の通った仕組みは継続性に繋がると信じている -

# 自分にとっての『診療所が面白い』



地域医療  
診療所で育む



『住み慣れた地域で最期まで過ごすことができる』

医師患者関係



人対人関係

地域課題～組織課題  
組織構築～関係構築  
継続性～仕組化

自省時間



チーム医療の  
Professionalism



## 講師略歴

内川 宗大(うちかわ むねひろ)

和歌山県:国保北山村診療所 所長

### ◆学歴

2013年3月 自治医科大学 医学部医学科 卒業

### ◆職歴

2013年4月 日本赤十字社和歌山医療センター 初期臨床研修医

2015年4月 国保すさみ病院 内科医員

2018年4月 日本赤十字社和歌山医療センター 腎臓内科専攻医

2020年4月 国保北山村診療所 所長

2022年4月 日本赤十字社和歌山医療センター 救急科集中治療部 兼 腎臓内科

2023年4月 国保北山村診療所 所長

2024年9月 北山村地域医療研修センター センター長兼任

現在に至る

### ◆賞罰

第63回全国国保地域医療学会優秀研究表彰(2024年)

### ◆著書・論文等

北山村の中心で、地域医療をさけぶ 地域医療 62(4) 29-35.2025

### ◆学会及び社会的活動・その他

日本内科学会

日本腎臓内科学会

日本透析医学会

## 診療所って面白い～オンリーワンの○○○○

兵庫県：宝塚市国民健康保険診療所副所長  
畠 紗

宝塚市国民健康保険診療所は、大阪・神戸から電車で約30分という都市近郊に位置しながら、宝塚市北部の山間農村地域である西谷地区を主な診療圏とする国保診療所である。西谷地区は市域の約3分の2を占める一方、人口は市全体の約1%にとどまり、高齢化率は48.2%と極めて高い。市街化調整区域に指定されているため都市開発が制限され、生活利便施設も少ないなど、独特の地域特性を有している。

当診療所は、このような地域において医科・歯科が連携し、地域住民の健康を支えている。歯科部門では、年間約6,000人の患者を対象とした日常診療に加え、歯科保健センターとして老健施設での口腔ケアや歯科検診、口腔健康教室の開催、小学校・幼稚園での歯科保健活動など、地域に根ざした歯科保健活動を継続して実施している。

都市部に近い立地条件から、西谷地区に限らず宝塚市街地や隣接市町村からの来院も多く、総合病院の口腔外科など専門医療機関へのアクセスも良好である。また、市街化調整区域という地域性から、転居や移住が少なく閉鎖的なコミュニティとなりやすいが、その反面、家族や近隣住民による相互扶助の意識は高く、在宅・往診が適当と考えられる患者であっても、周囲の支援により通院が継続されている状況がみられる。

都市近郊であることは人材確保の面でも有利に働き、宝塚市街地や隣接市からの通勤が可能である。さらに、大学病院等に容易にアクセスできる環境は専門性の維持や最新医療への接触に寄与するが、診療所設備の制約により、専門性を十分に活かしきれていない側面も存在する。

今後はさらなる医科歯科連携と医療の広域化を進め、市や病院、福祉施設、国保診療所との連携体制を構築することで、都市に近い山間部国保診療所歯科としての役割を引き続き検討していきたい。

# 診療所って面白い～ オシリーワンの○○○○○

2026年1月17日

宝塚市国民健康保険診療所  
副所長 畠 純

# 本日の内容

- 1、自己紹介
- 2、西谷地域、診療所の紹介
- 3、毎日の仕事について
- 4、立地における特徴

# 自己紹介

2002年 広島大学歯学部卒業

2004年 大阪大学大学院歯学研究科(歯科麻酔)

2009年 博士課程修了

2002年—2005年 呉医療センター 歯科・歯科口腔外科

2009年—2010年 滋賀県立総合病院 麻酔科

2010年—2011年 大阪府立母子総合医療センター 麻酔科 レジデント

2011年—2013年 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 医員

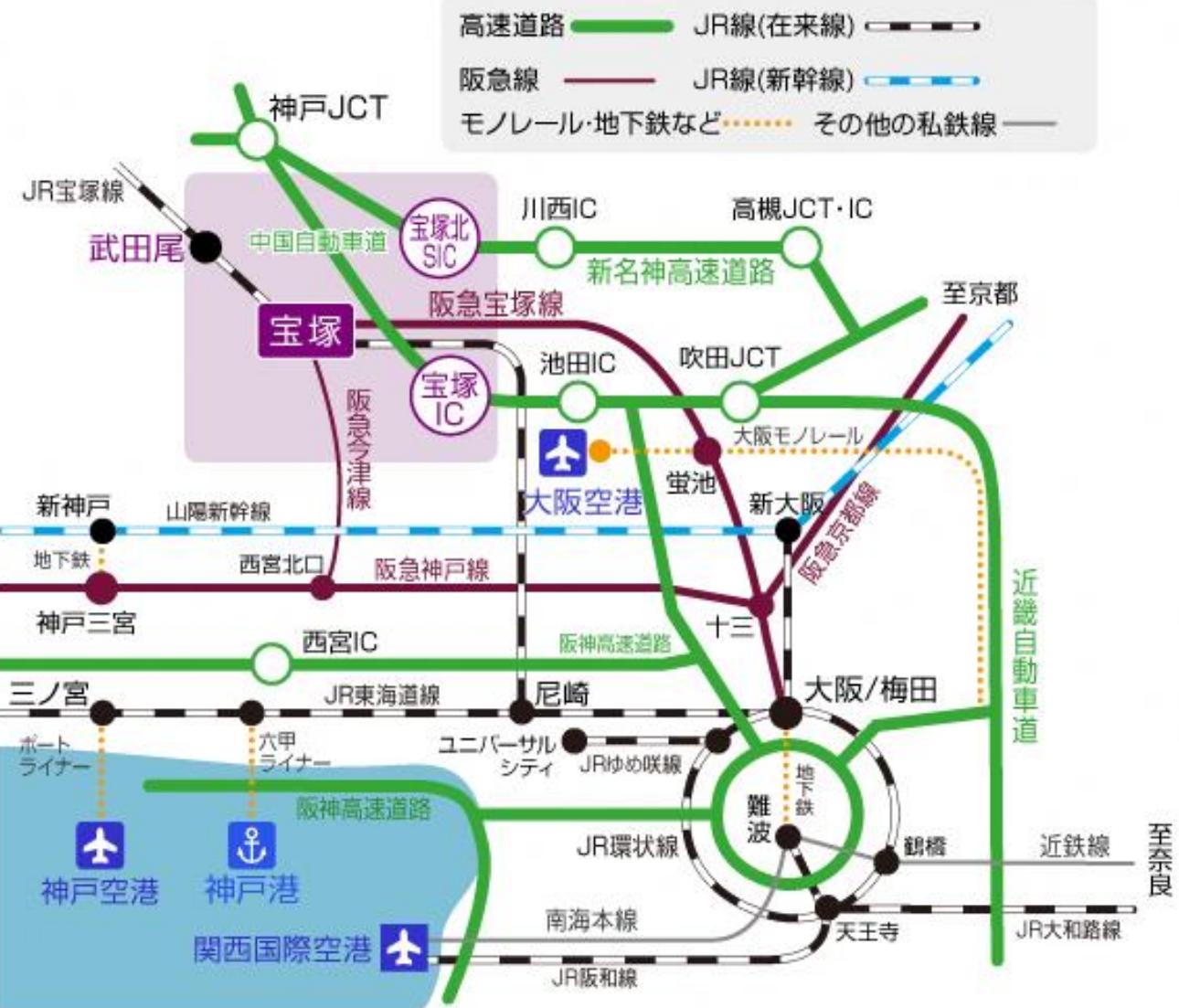
2013年—2015年 洛和会音羽病院 歯科麻酔科 医長

2015年—現在 宝塚市国民健康保険診療所 副所長

大阪大学歯学部附属病院 招へい教員



# 宝塚市の紹介



大阪、神戸から電車で30分

宝塚大劇場



タワーマンション群



ベルサイユのばら



武庫川の夜景



# 西谷地区の紹介

宝塚市北部 山間部の農村地域  
面積は市の3分の2  
宝塚市街地から車で30分  
電車とバスで30分  
市街化調整区域でコンビニもない  
人口は宝塚市の1%  
(宝塚市22万人 西谷2千人)  
高齢化率は48.2%  
(宝塚市28.1%)





## JR福知山線廃線跡ウォーク



# 西谷の診療所



# 宝塚市国民健康保険診療所について



# 医科の診療体制 (R8年1月現在)

月(午前・午後)皮膚科・内科 非常勤医師

火(午前) 呼吸器内科 宝塚市立病院より派遣

水(午前) 循環器内科 東宝塚さとう病院より派遣

(午後) 消化器内科 こだま病院より派遣

金(午前) 皮膚科・内科 非常勤医師

(午後) 整形外科 非常勤医師

※4月から管理医師が変わる



## 医科のスタッフ

医師 6名 (非常勤2名、病院からの派遣4名)

看護師 3名 (1人は保健師資格保有)

非常勤薬剤師 1名 (水曜午前循環器内科のみ)

受付業務 3名 (2名は医療事務、1名は元市役所職員)

# 歯科の診療体制

月(午前・午後)

火(午前・午後) 歯科医師二人体制

水(午前・午後)

金(午前・午後) 歯科医師二人体制(月1回程度)

土(午前・午後) 歯科医師二人体制

## 令和6年度診療実績

患者数年間 6,155人 1日平均 30人



# 歯科のスタッフ

歯科医師2名（非常勤2名）

歯科衛生士（診療所）4名

（常勤1名 非常勤3名）

歯科衛生士（歯科保健センター）非常勤3名

その他 アルバイト 歯科医師1名 歯科衛生士2名



# 歯科保健センター

- ・週1回 老健施設での口腔ケア
- ・年2回 老健施設歯科検診
- ・月1回 口腔健康教室
- ・年1回 小学校、幼稚園での保健活動



# 患者さんとの関わり



# 苔玉の先生



# 患者さんとの関わり

# 四季の写真を飾ってくれる写真の先生





全国有数のダリアの生産地



黒豆の仕分けも仕事

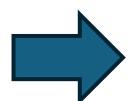
# 自分の仕事

## 【診療所の中】

- ・日々の診療、歯科保健活動

## 【診療所の外】

- ・週一回、大阪大学歯科麻酔科にて、招へい教員として臨床、教育活動に従事している
- ・歯科医師会に参加  
(保険委員会／情報DX・AI委員会／いい歯の日イベント)
- ・宝塚市斑状歯判定委員会 委員
- ・国診協 若手の会(歯科)



診療所の中と外をつなぐ役割

# いい歯の日 市民無料歯科検診（歯科医師会）



市内の歯科医師会会員の先生方と知り合える機会

# 歯科医師会 保険委員会



診療報酬改定の際、会員の先生方への説明会を行う。事前に勉強できる機会に。

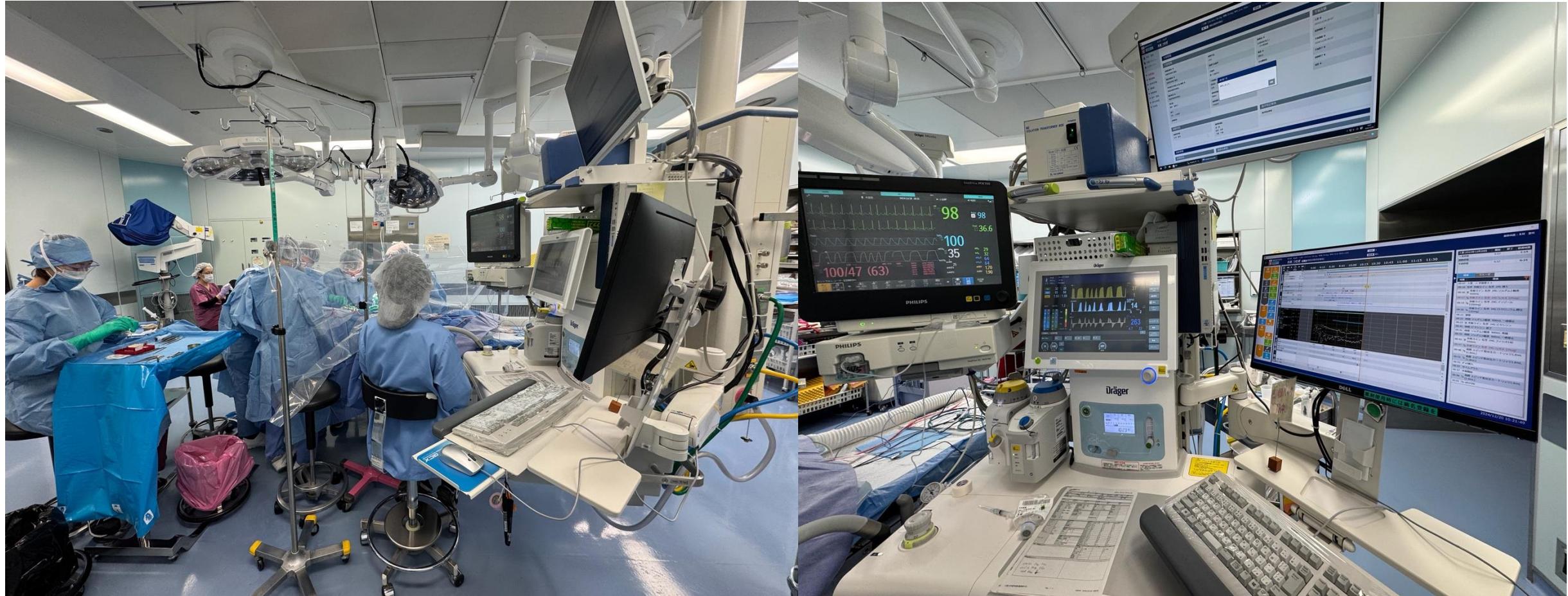
# 国診協 若手の会(歯科)

# 第65回全国国保地域医療学会



全国の国保診療施設の先生と知りえる機会

# 大学での臨床と後輩の指導(歯科麻酔)



- ①専門性の維持に必要
- ②最新の医療に触れる機会
- ③若い先生と知り合える

# 歯科麻酔とは

- ・痛みや不安の軽減

歯科治療恐怖症や嘔吐反射が強い場合に、  
静脈内鎮静法や全身麻酔で歯科治療を受けるようにする

- ・全身管理が必要な患者さんへの対応

高齢者、有病者など特別な配慮が必要な方の歯科治療中の全身状態を  
継続的に確認する

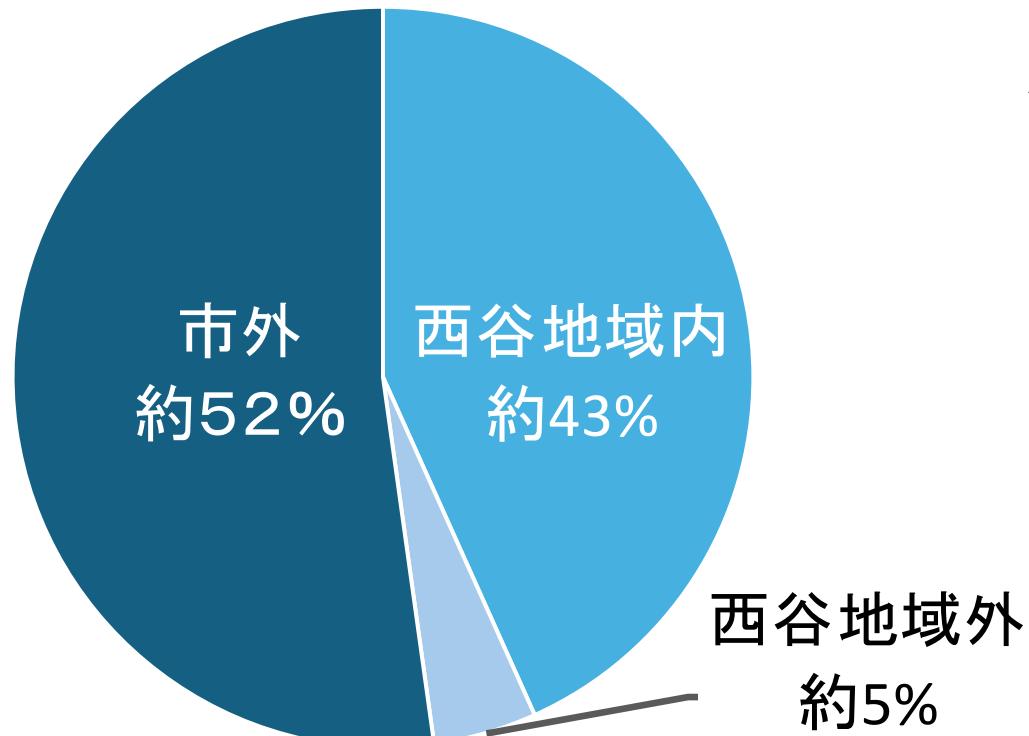
- ・口腔外科手術の全身麻酔

口腔外科領域の手術において、全身麻酔を含む周術期管理を行う

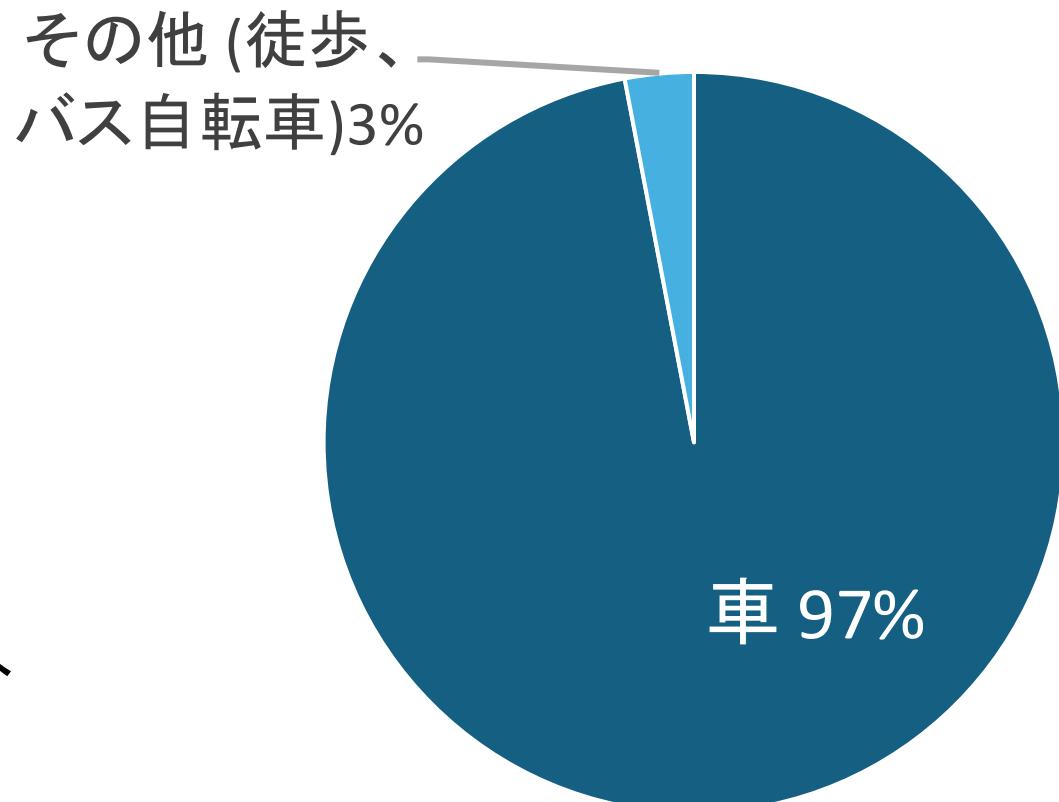
# 立地による特徴 ①

西谷地域だけでなく宝塚市内や、隣接する市町村からの来院も多い。

患者内訳



交通手段



## 立地による特徴 ②

市街化調整区域のため都市開発が制限されているので、

転居や移住の受け入れが少なく、閉鎖的なコミュニティである。

その一方、地域内での相互扶助の意識は高く、

往診は行なっているが、在宅・往診による診療が適当と考えられる

患者であっても家族や近隣住民の協力により通院している。

# 立地による特徴③

## ・紹介のしやすさ

68歳男性1ヶ月前から左側舌縁に疼痛あり受診  
カンジダ陰性、サルコート処方でも改善せず



市立池田病院口腔外科へ紹介  
(当院から車で30分程度)



SCC(扁平上皮癌)で左側舌部分切除術  
転位なし 予後良好



総合病院の口腔外科など迅速に専門的医療機関に紹介しやすい。

## 立地による特徴 ④

宝塚市街地や隣接する市からの通勤が30分程度で可能であり、人材確保の面で有利に働いている。

自分自身も大学時代のアルバイト先であった。

西谷地区在住は2人のみ

他のスタッフは宝塚市街地、近隣の市より車や電車・バスで通勤

※ 令和9年4月より通勤時のバスが路線廃止予定であり、現在市が交通手段を検討中

## 立地による特徴 ⑤

大学病院等に容易にアクセスできる環境により、専門性の維持に役立ち、最新の医療に触れる機会を得ることができる。

歯科医師会にも参加しやすく、人脈を広げ、新しい情報が入手しやすい。一方で、診療所では静脈内鎮静法や全身麻酔での歯科治療など自分の専門性が活かしきれていない。

# 今後の展望

さらなる医科歯科連携と医療の広域化を図る

市と協力し、市内の市立病院を含めた病院、福祉施設、国保診療所との連携体制の構築（例：人員の相互派遣、スタッフの相互交流、研修医の受け入れなど）

（新市長の方針）

歯科医師会の障がい者歯科診療事業に参加し、専門性を活かして近隣の市とも連携する

ご清聴ありがとうございました



## 講師略歴

畠 綾(はた あや)

兵庫県:宝塚市国民健康保険診療所 副所長

### ◆学歴

2002年3月 広島大学歯学部 卒業

### ◆職歴

2002年5月 独立行政法人 吳医療センター 歯科・歯科口腔外科 非常勤職員  
2005年3月 同退職  
2005年4月 大阪大学大学院歯学研究科統合機能口腔科学(歯科麻酔学)入学  
2009年3月 同修了  
2009年4月 滋賀県立成人病センター 麻酔科 非常勤職員  
2010年3月 同退職  
2010年4月 大阪府立母子総合医療センター 麻酔科 レジデント  
2011年3月 同退職  
2011年4月 大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔学教室 医員  
2013年3月 同退職  
2013年4月 洛和会音羽病院 歯科麻酔科 医長  
2015年3月 同退職  
2015年4月 宝塚市国民健康保険診療所 副所長  
大阪大学歯学部附属病院 招へい教員  
現在に至る

### ◆学会等における活動

歯学博士

歯科麻酔学会専門医

障害者歯科学会

歯科臨床研修指導医

宝塚歯科医師会 斑状歯委員会 保険委員会 情報DX・AI委員会

国診協 若手の会(歯科)